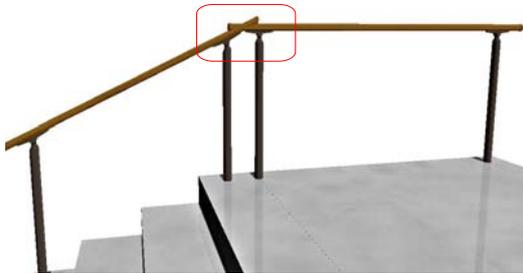


手摺の飛び出した部分を切り欠きする方法

斜めの手摺と並行の手摺が交差し、はみ出した部分をきれいに仕上げる方法をご説明します。

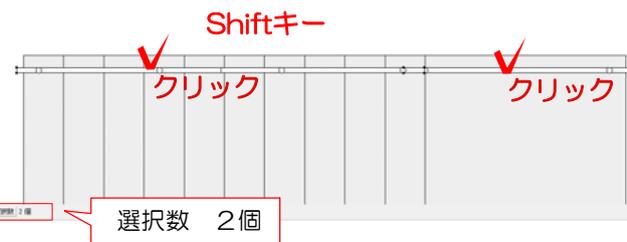


手摺が飛び出した部分を eE-Former で処理する方法です。

補助線で切断する方法もあります



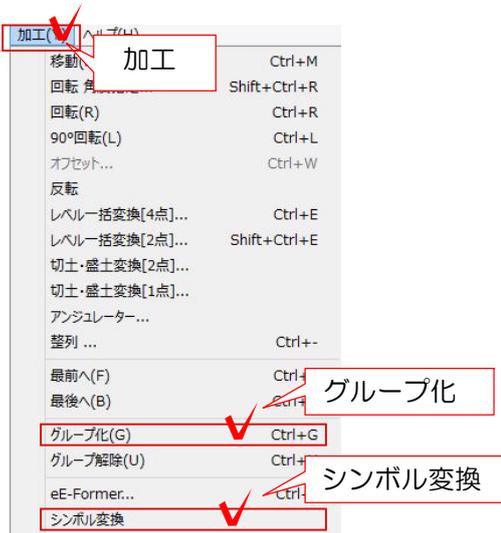
「オーセブンCAD→ユニット→手摺→交差した手摺を綺麗に仕上げる方法」を参照



1：作成した斜めの手摺と並行の手摺を選択します。

Shiftキーを押しながら2つの手摺をクリックします。

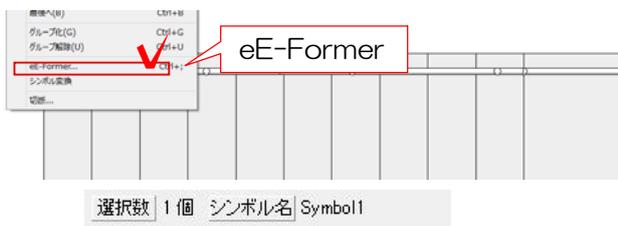
2個選択されてるか確認します。



2：加工メニューの「グループ化」をクリックします。

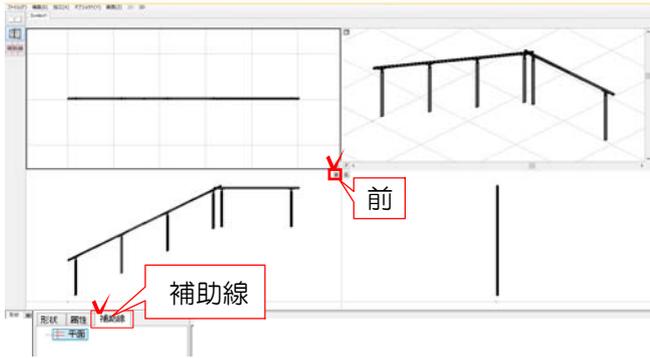
3：加工メニューの「シンボル変換」をクリックします。

※グループ化して1個にしなればシンボル変換できません。



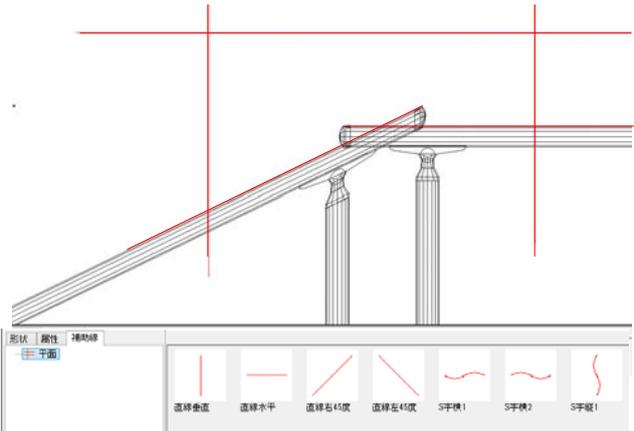
4：加工メニュー→『eE-Former』
eE-Formerが起動します。

※シンボルにしなればeE-Formerで加工できません。



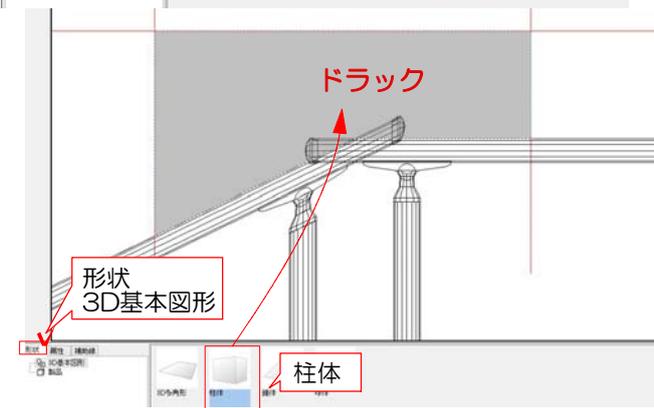
4：eE-Formerが起動します。
左下の補助線をクリックします。

「前」をクリックして前の画面を拡大しましょう。作業がしやすくなります。



5：飛び出した部分を切り欠きするための図形を作ります。
補助線を置いていきます。

特に手摺に接する部分は隙間が空かないようにぴったりと置きます。



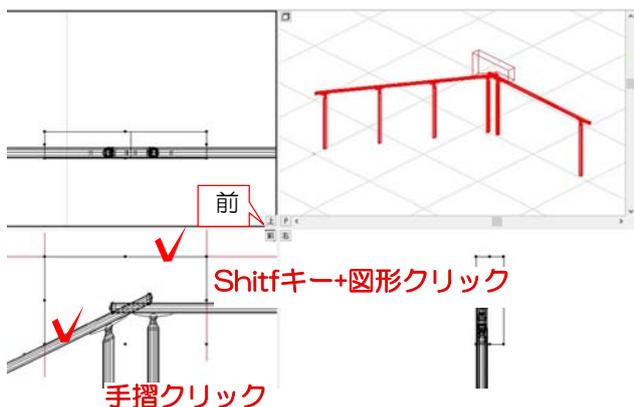
6：形状をクリックします。

補助線の中に3D基本図形の柱体をドラックして入れます。
補助線に隙間があると入りません。



7：Hの設定

厚み(今回は100くらい)を入力してOKをクリックします。



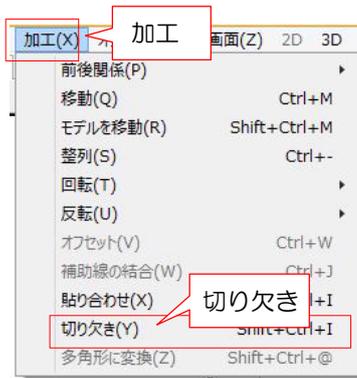
8：柱体の図形を確認します。

「前」をクリックすると4つの画面に戻ります。

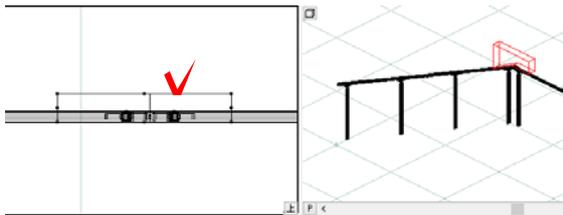
9：作成した図形と手摺を選択します。

Shiftキーを押しながら図形と手摺をそれぞれクリックします。

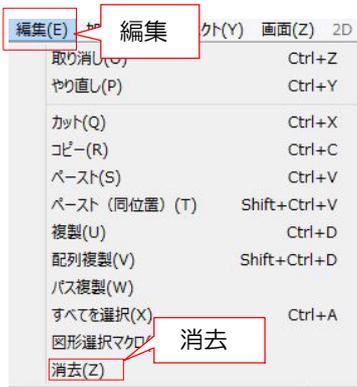
図形の線の上をクリックすると選択できます。



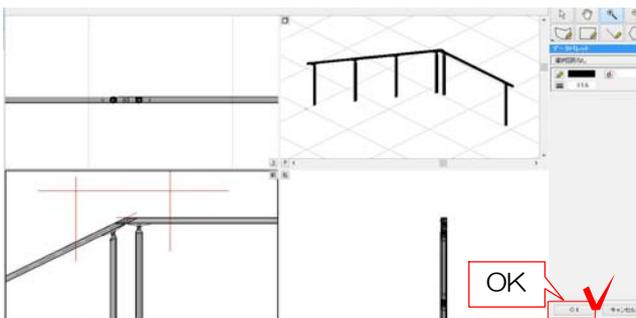
10：加工メニューの「切り欠き」をクリックします。



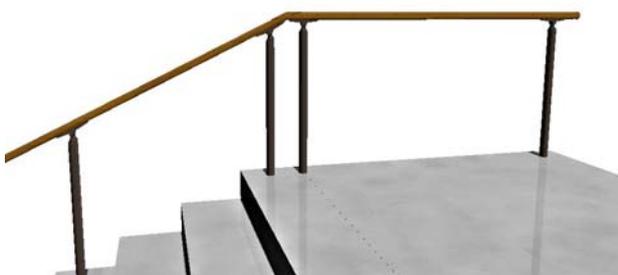
11：手摺の飛び出した部分が切り欠かれました。
図形をクリックで選択します。



12：編集メニューの「消去」をクリックして図形を削除します。



13：OKをクリックしてeE-Formerを終了します。



14：eE-Painterで確認します。